

薬用保冷库（冷蔵庫）

校正日	2025年3月7日		標準温度計	ADS-100 指示計器付温度計	
機器名	MPR-414F パナソニック		設置場所	臨床研究センター 研究室(実験室)	
対象機器の 表示温度	4℃	標準温度計の 表示温度	2.09℃～6.42℃	標準温度計との 温度差	Min -1.91℃ Max +2.42℃

薬用保冷库（冷凍庫）

校正日	2025年3月7日		標準温度計	ADS-100 指示計器付温度計	
機器名	MPR-414F パナソニック		設置場所	臨床研究センター 研究室(実験室)	
対象機器の 表示温度	-25℃	標準温度計の 表示温度	-25.08℃ ～ -26.20℃	標準温度計との 温度差	Min-0.08℃ Max-1.20℃

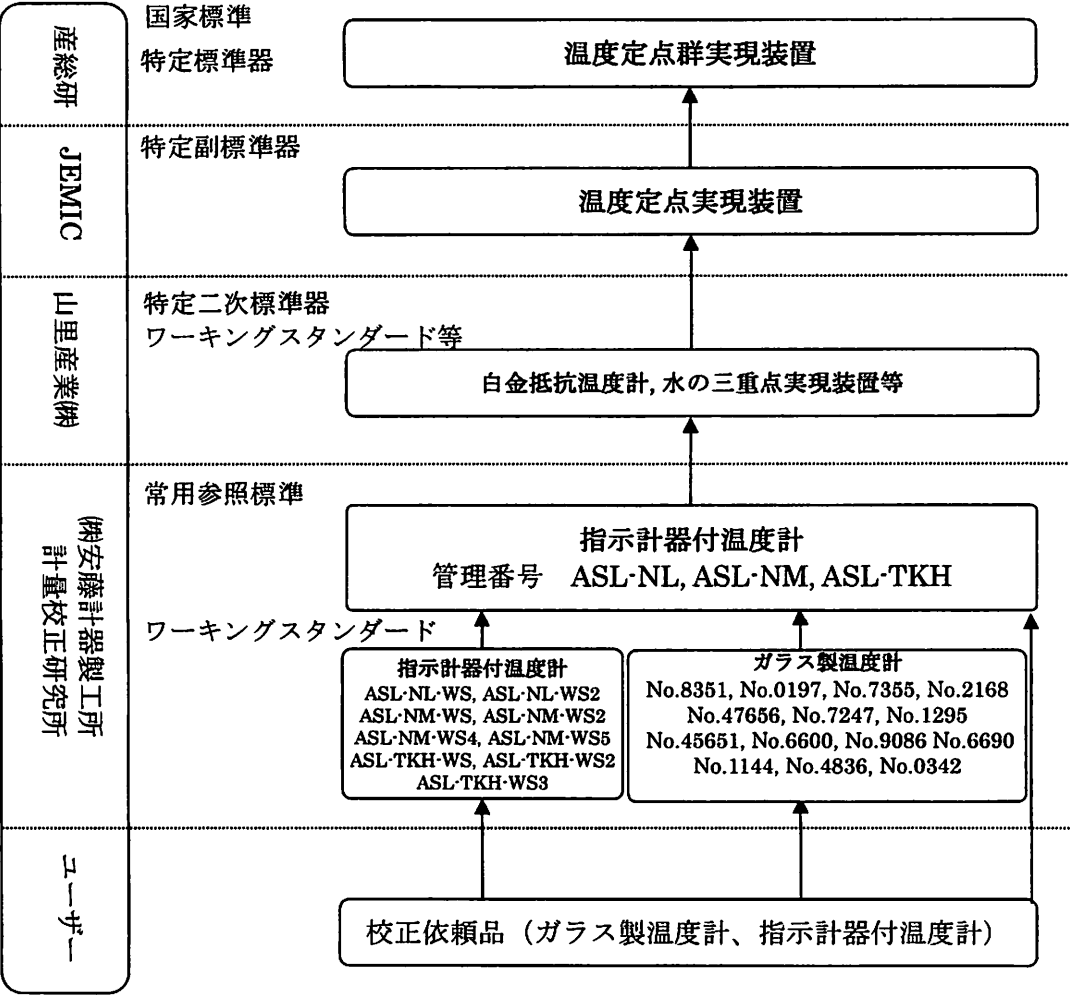
超低温フリーザー

校正日	2025年3月7日		標準温度計	ADS-100 指示計器付温度計	
機器名	MDF-DC200V-PJ パナソニック		設置場所	臨床研究センター 研究室(フリーザー室)	
対象機器の 表示温度	-85℃	標準温度計の 表示温度	-85.15℃	標準温度計との 温度差	-0.15
対象機器の 表示温度	-83℃	標準温度計の 表示温度	-84.36℃	標準温度計との 温度差	-1.36℃

実施者	承認者
臨床試験支援室	臨床研究センター長
2025/3/7	2025/3/15
	

《温度標準トレーサビリティ体系図》

当社の標準器は、下記体系図に示すように国家標準にトレーサブルであることを証す。



※産総研：国立研究開発法人 産業技術総合研究所
JEMIC：日本電気計器検定所
山里産業㈱：山里産業株式会社 標準室

2023年2月5日
株式会社 安藤計器製工所
計量校正研究所



校正証明書

依頼者名 国立病院機構四国がんセンター 臨床検査室
依頼者住所 愛媛県松山市南梅本町甲160

品名 指示計器付温度計
型式 本体 : ADS-100 (TP-800PT)
センサ : APTP-150 (PTP-150)
分解能 : 0.01 °C (200 °C以上は0.1 °C)

器物番号 本体 : 8000388
センサ : 1501830

製造者名 株式会社 安藤計器製工所 (株式会社 サーモポート)

校正項目 温度
校正方法 「指示計器付温度計校正実施手順書」による
校正年月日 2023年2月3日
校正実施場所 当社温度校正室

校正結果が、次頁の通りであることを証明します。

2023年2月5日

東京都板橋区仲町31-1

株式会社 安藤計器製工所

計量校正研究所

所長

古賀 英樹



この証明書は計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して使用することを禁じます。

この証明書はILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

校正結果

校正温度(℃)	校正値(℃)	拡張不確かさ(℃)
-50.00	-50.15	0.09
-25.00	-24.98	0.09
0.00	0.08	0.05
50.00	50.22	0.05
100.00	100.29	0.08
150.00	150.28	0.08
195.00	195.22	0.08

校正値 校正値とは、校正温度における校正対象品の指示する値をいう。
校正の拡張不確かさ 信頼の水準約95 %に相当し、包含係数 k は2である。

校正条件

1. 校正は、標準器との比較測定により実施した。
2. 温槽へのセンサ挿入は、挿入長約80 mmとした。
3. 校正に使用した温槽
0℃の温度目盛の校正には、氷点槽を使用した。
-50℃以上-25℃以下の温度目盛の校正には、低温槽を使用した。
50℃の温度目盛の校正には、水温槽を使用した。
100℃以上195℃以下の温度目盛の校正には、油槽を使用した。
4. 校正時の環境条件
温度: 18℃ ~ 22℃
湿度: 25% ~ 29%

校正に使用した機器等

- ・ワーキングスタンダード 指示計器付温度計
(管理番号 ASL-NL-WS2, ASL-NM-WS2)

以上